

楠川選手(田辺工業)が6位

体操 全国高校選抜大会

第30回全国高校体操競技選抜大会(日本体操協会、全国高校体育連盟主催)が21、22日、愛知県豊田市であり、田辺工業2年の楠川雄太選手が個人総合で6位に入賞した。楠川選手は5月9、11日、東京の代々木第1体育館で開かれる第68回全日本体操競技個人総合選手権大会に出場する。

高校生にとって、夏の全国高校総合体育大会(インターハイ)と並ぶ主要な全国大会。昨年のインターハイや各地のブロック大会で上位に入った1、2年生計60人が出場した。

ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目で演技をした。楠川選手は、跳馬、平行棒、鉄棒の3種目が5位、あん馬が7位、ゆか12位、つり輪は24位だった。出場選手の中には、世界選手権のゆかで金メダルを獲得した白井健三選手(神奈川県岸根高)もいた。

楠川選手が出場権を獲得した全日本体操競技個人総合選手権大会には、社会人や大学生の国内トップクラスの選手も出場する。楠川選手は「選抜大会では全体的に演技はよかったが、

得意のつり輪で優勝を狙っていたのにミスが出た。次の選手権では頑張って上位に食い込みたいし、他の種目でもどれだけできるか挑戦したい」と語った。

指導する田辺工業体操部監督の柴田達也教諭は「選手権大会の出場は、本人にとって素晴らしい経験となるので、大会に向けて力をつけさせていく。得意のつり輪でどこまで戦うことができるか試してみたい」と話している。



6位に入賞した田辺工業高校の楠川雄太選手